

JKA補助事業

2019年度フルードパワーの国際競争力に資する標準化推進補助事業

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ISO/TC131の全てのSC/WG及びISO/TC118/SC3のWGに専門家委員を派遣し、国際規格開発の初期段階から、日本の提案、意見を反映させ、日本を利する国際規格策定を目指す。また、国内では、各国内分科会において、規格内容の精査、規格化の進め方などを審議し、標準化活動を推進する。

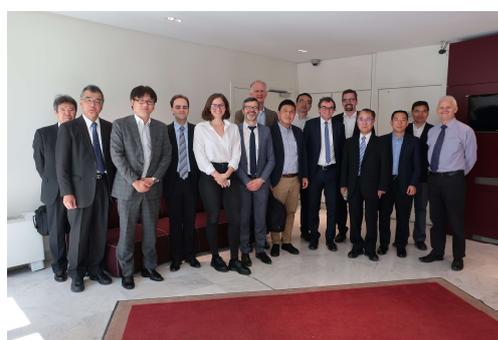
(2) 実施内容

① ISO/TC131：フランス・パリ国際会議、ISO/TC131：イタリア・ミラノ国際会議、及びISO/TC118/SC3：スウェーデン・ストックホルム国際会議に委員を派遣し日本の意見の反映に努めた。

また、発行されたISO審議案件109件についてすべて回答し、日本の意見の反映に努めた。



ISO/TC131 パリ会議場



ISO/TC131 パリ会議風景（参加者）



ISO/TC131 ミラノ会議場



ISO/TC131 ミラノ会議風景

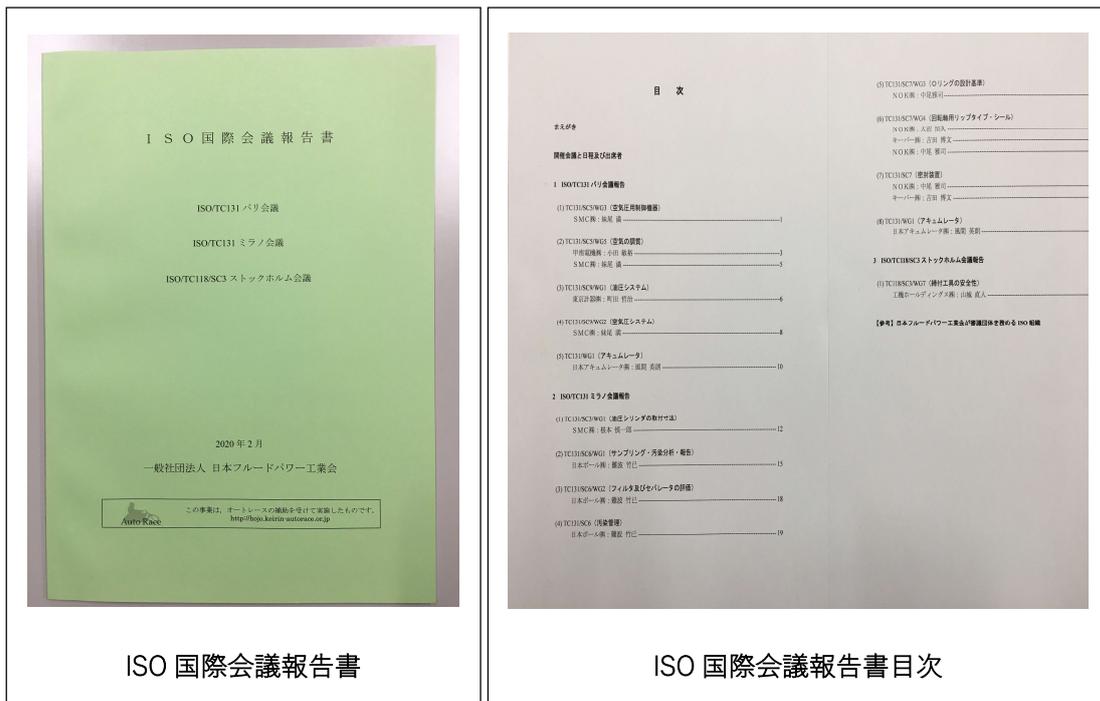
2 予想される事業実施効果

フルードパワーは、日本、アメリカ、ヨーロッパの3極が世界をリードしている技術分野である。日本はISO/TC131（フルードパワーシステム）創立時から活動して来ており、TC131内における日本の存在感は高いと言える。一方、従来の3極化に加え、近年、中国も台頭もめざましくなっている。

グローバル化が進む中で、我が国のフルードパワー産業の一層の競争力強化を図るために、標準化活動において海外団体から提案された規格内容を精査し、我が国に不利にならないよう対応すること及び我が国から提案した事案を規格化することによって我が国の存在感を一層高めることが見込まれる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの：ISO/TC131国際会議報告書



ISO 国際会議報告書

ISO 国際会議報告書目次

この事業はオートレース
の補助を受けて実施して
います。

